

三川元気夢来プロジェクトで集落元気！

三川生活圏(田辺市)

三川の現況

- 【人口】439人(内あすなる48人)
- 【集落数】11集落 【高齢化率】51.5%
- 【世帯数】274世帯(一人暮らし90世帯)
- 【施設等】役場連絡所、診療所、郵便局、JA
大塔あすなる会、養護施設くすのき(真寿会)
共生舎、保育所(休園)小学校(生徒10名)
大塔中学へ通学(9名)[上記数値は平成22年4月現在]
- 【地域資源】百間山溪谷キャンプ場、かもしか牧場
大塔山遊館、若葉まつり、三川地域お楽しみ会
- 【特産品】椎茸、米、らっきょ、いも類、鮎、高野槇

現在の取組

- 生活交通の確保
 - ・デマンドバス 1日3便1回200円(2路線)
 - ・診療所送迎バス 地域を分けて隔週で実施
 - ・外出支援事業 公共交通機関の利用が困難な人を月2回医療機関へ送迎
- 医療・福祉
 - ・三川診療所 毎週月、木(内科、外科、小児科)
毎週火(歯科)
- 生活必需品の確保
 - ・移動販売 月、火、木、土 木守除く
 - ・地元商店 乾物、酒など
※がリンスタンドあり
- 教育
 - ・通学合宿の実施 地元の小学生が地域の協力を得て一定期間の合宿を実施
- 地域特産品販売所
 - ・三川夢来人の館 H22.7に田辺市街地にオープンした三川産品の直売所

三川の課題

- 農産物の生産・加工・販売体制が不十分
 - ・鳥獣被害が大きく、耕作意欲が低下
 - ・加工、販売を強化し所得を生み出す取組が必要
- 交流機会が少なく、活気がない
- 買い物など高齢者が生活に不安を抱えている

総合対策

- 【実施年度】H23～25年度
- 【事業主体】三川元気夢来プロジェクト、三川区長会、大塔あすなる会
真寿会、共生舎、関係施設指定管理者、田辺市

| | |
|-------|----------|
| 全体事業費 | 22,020千円 |
| 県 | 8,858千円 |
| 市 | 10,612千円 |
| 国 | 2,000千円 |
| 地元 | 550千円 |

〈1、農産物生産・加工・販売の強化〉18,680千円

- 【生産】 【三川元気夢来プロ、市】
 - 農地の再生、鳥獣害対策の実施
 - ・耕作放棄地を再生し『三川の畑』を整備
※4ヵ所(熊野、面川、五味、木守)、計8反
 - ・地域住民や福祉施設が参加し『三川の畑』に鳥獣害防止柵を設置(約2000m)
 - ・向山地区へ集落全体を囲む鳥獣害防止柵を設置(約4000m)
 - 農産物の生産計画を策定等
 - ・年間を通した生産計画を策定、実施
 - ・あすなる会、真寿会も計画に参画
- 【加工】 【三川元気夢来プロ】
 - 地域の特産品を活かした加工品の開発
 - ・女性メンバーによる加工品開発研究会の開催(餅、漬け物、佃煮、チラシ寿司等)
- 【販売】 【三川元気夢来プロ】
 - 『三川夢来人の館』売上増への取組(目標 630万円(H22)→1800万円(H25))
 - ・頑張る生産者・加工品製造者への表彰制度創設
 - ・農産物、加工品の集出荷体制の構築
 - 地元福祉施設への食材の供給(地産地消)
 - ・あすなる会に対して給食材料を販売(米、イモ)

目指すべき姿

- 『三川の畑』・『夢来人の館』で所得の創出
 - ・耕作放棄地の活用で農作物の増産
 - ・『夢来人の館』の売り上げ目標達成
- 交流の推進と高齢者の生きがい対策
 - ・都市部、市街地との間で交流人口増
 - ・集いの場や買い物対策で高齢者に安心

〈2、交流人口の増加〉1,260千円

- 都市部との交流 【三川元気夢来プロ、指定管理者】
 - ・百間山溪谷キャンプ場や山遊館を活用して都市部の小学生を対象とした体験教室を開催
※農作業の収穫体験や収穫野菜での交流会等
 - ・『三川の畑』でオーナー制度の実施
- 市街地住民との交流 【三川区長会】
 - ・夢来人の館の顧客を三川地区の祭りへ招待等

〈3、高齢者等への生活対策等〉2,080千円

- 合川に集いの場を開催 【三川区長会】
 - ・高齢者が談話するふれあいサロンを開設
 - ・三川地域の特産品を地元向けに販売
 - ・移動販売業者、地元商店との連携
※診療所送迎バス、住民バスを活用して送迎
- 高齢者への買い物対策 【三川区長会】
 - ・市街地への買い物バスツアー
 - ・あすなる会への食材配送と連携した木守地区への生活必需品配送
- 福祉施設による地域貢献 【大塔あすなる会】
 - ・機材やあすなる牧場のヤギを活用し『三川の畑』の整備等に参画
 - ・道普請、草刈り、水道管理、高齢者への声かけ



三川夢来人の館



都市部との交流体験